

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	よこはまりパーサイド泉わかば		公表日		2025年2月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	成長に伴い、車椅子も大きくなるため、活動によって環境は工夫されている。	室内の環境を整えることで出来る限りスペースの確保を行う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	専門職も含め利用者にマンツーマンで対応出来る配置にしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	児童室、トイレも含めバリアフリー化している。	生活空間がこどもたちに分かりやすい表示になっているか、確認した上で、改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	毎日活動前に各所の掃除、消毒をしている。また、当日利用の子こどもたちに合わせて、マット使用等をしている。	スペースの問題もあるが、マットに降りるとなると埃が舞いやすい高さのため、工夫が必要となる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	5		体調不良時等に隔離するような部屋数が少ないため、パーティションや災害時テント等の使用で対応を検討していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	月1回専門職を含めた会議を開催している。定期的な職員面談を行って業務についての確認をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	送迎時や定期的な面談で保護者の意見を聞き、情報共有をすることで業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	職員の意見が出しやすいように定期的に職員面談を実施している。また、活動の振り返りの際に意見交換をしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	6		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	今年度はWeb研修で受講ができ、業務の中で自分でスケジュールを立てて受講することができた。	職員それぞれのスキルを上げていく為、外部研修も含め情報を入れながら、積極的に参加していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2		現在作成準備中で、整い次第ホームページに掲示する。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	・月1回のミーティングで評価を行っている。 ・ご自宅への送迎時に活動の際に気になったことを保護者に確認している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2	専門職も含めた会議の中で検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2	専門職を含めた会議で連携を取り、支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	4		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	3		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	毎月1回活動ミーティングを開催している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	活動ミーティングで前月の活動を振り返り、新たな活動について意見を出し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	2	個別活動、集団活動が組み合わせられるように活動を構成している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝のミーティングで当日の動きについて話しをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	全体の振り返りを次の日の朝ミーティングで行っている。	当日に共有できることはその都度行い、必要に応じ確認していく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2		記載をすること及び確認をしていくことを徹底いたします。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	6か月に1回保護者との面談を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	2	活動プログラムの中に組み込まれるようにしている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	プログラムの中に選択の機会を設けている。	活動の中で意欲を持って選択できる内容を引き続き考える。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	関わりのある現場職員が参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3		・体制は整っているが、活用はまだまだである。利用者によって関係機関との連携に違いがあるため、それぞれに合わせた連携体制を整え支援していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	・送迎時に情報交換を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	8		新規利用の場合に保護者に確認の上、情報共有の必要があるかの確認を行っていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	・支援学校で行われる移行支援会議で情報共有をしている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	8		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3		今年度児童部の自立支援協議会の開催がなかったため参加しなかったが、開催されたら積極的に参加する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	連絡帳アプリを使用し、写真を交えながら分かりやすく伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	・研修の情報等があればお知らせしている。 ・連絡帳アプリより研修等のお知らせをしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	2		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	4	年に1回懇談会を開催している。	日程調整など多くの方に参加、交流の機会を持っていただけるように企画する。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1		

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	・活動紹介を連絡帳アプリで送っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	・取り扱う際は必ず二者確認を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	併設のサービスで行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	4		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	4	年2回避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	ご利用受け入れ時に確認し、定期的な確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	ご家族からの要望でアレルギー対応を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	2		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		年度替わりにあらためて保護者に周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	リスク委員会の担当がKYTを定期的に行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会が研修を開催している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	身体拘束廃止委員会が半年ごとに見直しを行っている。		